

議会だより



明日に向かって走る子どもたち 一八千代北小学校一

12月定例会

- 子どもたちの「安全」「安心」を確保 ▶ 2
- こんなんどない これどうなってるの 12人が一般質問 ▶ 6
- 快適な学校生活を目指して ▶ 19
- 創造的過疎を目指す“まち”を訪ねて ▶ 20
- 地域創生に燃える ▶ 22

地域創生に燃える



あだち なおゆき
足立 直之さん

1986年 多可町生まれ
立命館大学卒業
楽天㈱を経て
㈱Tapitを共同創業



すやま ゆうじ
陶山 祐司さん

1987年 東京都生まれ
東京大学卒業
経済産業省を経て
インクルージョン・ジャパン㈱に入社

今、多可町の空き家に東京の若者たちから注目が集まっています。仕掛け人は、多可町出身者と元官僚の二人の若者です。

多可町を元気にしたいと動き出した若い二人にお話を聞きました。

多可町を活性化しようと思われた動機は何ですか

(陶山) シェアハウスで知り合った足立君から、多可町の人口減少の実情を聞かされたのが直接的きっかけです。

地方の現状を知らなかった反省も込め、多可町の活性化に貢献できないか考えました。

「会」を実施しました。実際取り組んでみてどうですか

(陶山) 東京生まれ東京育ちの自分にとっても、美しい棚田、美味しい食事、綺麗なホテル、面白い人々など、魅力的なものが多々あると感じました。しかし、その魅力をアピールしきれれていないと感じる部分があり、より一層多可町の皆さんと交流を深めていきたいと感じています。

今後どんな方向で活動を続けたいと思っておりますか

(足立) まず、多可町内で新しいことを始めようと考えている人や、多可町外にいながら、関心を持っている人との繋がりを増やしたいと考えています。

直近では、主に3つのことを中心に活動をしていきたいと考えています。



● 仲間づくり
● 移住者が住める家探し
● 人が集まれる場所探し
多可町が抱えている課題で、僕らが関わることがあれば、応援したいと思っていますのでよろしくお願いします。

熱く語られる言葉に感動しました。私たちも共に地域創生にがんばりましょう。

シェアハウスで議論を重ねる若者たち

編集後記

寒中お見舞い申し上げます。未年のスタートです。羊は穏やかで優しい動物です。穏やかな年であって欲しいですね。

今年(平成27年)の節目の年。また地方創生元年といわれる年。地方の力が問われる大事な年の始まりです。穏やかな中にも厳しさを持って、27年度に向けて努力していきたいと思えます。

37号より誌面の色が変わりました。皆さん見やすいでしょうか。

住民の皆さんにわかりやすく読みやすい広報をこれからも作っていきたいと思えます。(廣畑)

お詫びと訂正

35号3ページ(26年8月号)の「軽自動車税の表」に誤りがありました。正しくは広報たか27年1月号8ページをご覧ください。訂正してお詫びします。

子どもたちの

「安全」「安心」を確保



県下で最大級の1号墳 一東山一

東山1号墳の 見学再開へ

問 東山1号墳石室修復工事費249万円の内容は。

答 東山古墳では、1号墳と15号墳が見学可能でした。4年ほど前から、石積み部分がずれており、1号墳は閉鎖をされていました。ずれている部分が広

がってきていること、また全体に影響する部分なので、石積み部分をとって、もう一度積み上げるという修復工事をします。この1号墳は、県下でも最大級の古墳です。大勢の人に見学して頂きたいと思います。

体育館の天井を 安全に

平成23年3月11日に起きた東日本大震災で、体育館のつり天井落下による災害が多く発生したため、体育館のつり天井の安全性を確保する必要が出てきました。今年度は、中町北小学校体育館と中町中学校体育館として格技場の耐震化工事の設計をします。

平成26年12月3日から25日まで23日間の日程で、第61回定例会を開催しました。この定例会では、国民健康保険条例の一部改正案など5つの条例改正案、中町中学校体育館の耐震化工事に向けての実設計費の委託料や、八千代区内の小中学校統合に向けての準備の補正予算案など、一般会計および特別会計の補正予算案、請願などが提案され、いずれも原案を可決、採択、同意しました。

なごみの里の水回り 設備の環境を整える

問 なごみの里およびラベンダーパークの修繕費121万円の内容は。

答 なごみの里は、ボイラーの部分器具の修繕です。平成15年からの使用なので、耐用年数の5年を大きく過ぎています。マイコンの制御が効かなくなっています。給湯器は水漏れの修繕をします。また、温水と水の混合部分に亀裂が入っているので修繕します。ラベンダーパークは、トイレの浄化槽に異常があったので、修繕します。浄化槽は50人槽です。修繕には、どれくらいの期間がかかりますか。

答 修繕にはすぐかかります。1日できると聞いています。

魅力ある商品に ふるさと納税激増

町では、議会の意見を取り入れて、平成26年12月1日から1万円以上の「ふるさと納税」をされた人へのお礼の品物を充実しました。

問 品物を充実したことで、ふるさと納税はどのくらい増えたのですか。

答 11月末までに133万1000円だったのが12月20日までで1485万円になりました。

問 充実された商品の内容は。

答 町内産のお米や地鶏肉、お酒や調味料、杉原紙で作った各種商品や体験企画などです。



魅力ある商品の数々

歳出 10月・12月補正予算

款	10月補正	12月補正	補正後の額
議会費		78万円	1億 289万円
総務費		4081万円	15億7905万円
民生費		5875万円	32億5147万円
衛生費		370万円	8億2385万円
農林水産業費		465万円	11億 865万円
商工費	4155万円	65万円	3億8471万円
土木費		119万円	11億7732万円
消防費		40万円	5億2269万円
教育費		2263万円	10億9344万円
諸支出金		3002万円	4614万円
歳出合計	4155万円	1億6358万円	120億7443万円
特別会計		2365万円	69億4348万円
公営企業会計		25万円	5億4133万円

※予算金額は補正のあった科目のみです。合計は現予算の総計です。補正後の額は特別会計全会計の合計です。

八千代小学校の 整備を万全に

3校が1校になるために、部屋の改修や駐車場の整備が必要となるので、準備に入ります。

問 どのように部屋の改修をするのですか。

答 部屋の間仕切りを、アコーディオンカーテンから引き戸に変えます。

問 他の改修は、どのようなことをするのですか。

答 エレベーターを新設します。トイレには洋式便器を設置します。また、小学校を統合することでバス通学が必要な児童ができるため、バス停の整備をします。

年金積立金の安全かつ確実な運用を求めて

平成26年11月19日、連合北播地域協議会の藤原守人議長より「年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する請願」が提出されました。

総務文教常任委員会では提出者側から詳細な説明を受けました。

委員の間では「政府の成長戦略の一環として、一方的に年金運用の見直しがされていることを問題視する内容となっている、このような意見書の提出には賛成できない。」との意見がでました。

意見調整の結果、意見書には①背景と経緯②法的根拠③要望のみを書き込むこととしました。

本会議では、全員賛成で請願を採択し、意見書に係る関係機関に送付しました。

「年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書」

公的年金は高齢者世帯収入の7割を占め、6割の高齢者世帯が年金収入だけで生活している。特に、高齢化率の高い地域では県民所得の約17%、家計の最終消費支出の約20%を占めるなど、年金は老後の生活保障の柱となっている。

国では、昨年6月に改定した日本再興戦略において、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）に対して、少子高齢化社会においても年金制度を維持していくために、年金積立金の運用の見直しを求め、GPIFは10月末に株式や債権等の運用資産の構成割合の見直しを行ったところである。

言うまでもなく、年金積立金は、高齢者の生活の安定のために使われる国民の貴重な財産であり、その運用は、厚生年金保険法等の規定により、専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を行うこととされている。

よって、国におかれては、金融市場の動向に細心の注意を払うとともに、GPIFが行う年金積立金の運用に対し、被保険者の意向を踏まえて、これまで以上に厳格な監視等を行うよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年12月25日

衆議院議長 町村 信孝 様
参議院議長 山崎 正昭 様
内閣総理大臣 安倍 晋三 様
厚生労働大臣 塩崎 恭久 様

多可町議会議長 河崎 一

賛成討論

年金の運用は安全第一に

大山 由郎

公的年金は老後の生活に無くてはならないものです。政府は、「年金積立金管理運用独立行政法人」に対し、リスク性を高める方向で運用の見直しを求めています。被保険者の利益のために、長期的観点から安全・確実な運用をするべきです。

年金積立金は安定運用すべき

山口 邦政

公的年金は老後の貴重な生活保障の柱で、長期的に安定運用するべき。リスクある株式運用割合は低く抑えるべきです。家庭の資産運用でも50%以上を株式に頼る高リスクな運用はしません。また、資金の拠出者の声が届く運用をするべきです。

ラベンダーの香りイベント

平成26年10月29日に開催した臨時議会で、NPO法人北播磨ラベンダーが申請していた国の地域経済循環創造事業交付金(4155万5000円)の交付を受け、一般会計補正予算を全員一致で可決しました。

ラベンダーで認知症予防

多可町には、西日本一のラベンダーパークがあります。

このパーク内で栽培したラベンダーを原材料に精製した精油や精油を使



ラベンダーの香りで癒されて アロマセラピスト養成講座一

つた商品の販売、またアロマセラピーや各種体験講座など、ラベンダーを活用した6次産業の拡大に取り組みされます。

鳥取大学医学部の浦上克哉教授によると、ラベンダー精油とローズマリーやレモン、またオレンジを組み合わせた香りがアルツハイマー型の認知症の予防に期待できるとのことです。

無農薬、無肥料の安心安全なラベンダーオイルの販売で、地域経済の波及効果を目指されます。

問 ラベンダーパーク多可では、今3.5ヘクタール、2万株のラベンダーを植えています。これらのラベンダーは、クラフトや草木染に既に活用されています。これらの事業を全部やめてしまうことはできません。

どのぐらいのラベンダー精油が抽出でき、どのぐらいの利益を生み出せるのですか。

銀行からの借入金と国の補助金を受けて新たに事業をされますが、この事業の採算性はどのようになっていますか。

答 銀行からの借入金を返済できます。

金融機関は、今回の事業は着眼点がすぐれており、総合的に判断して融資をしたと聞いています。

現在収穫予定のラベンダーは年間1万キログラムで、今回の補助などで1万2500キログラムまでのラベンダーを蒸留することができ機械を導入する予定です。

精油は、ラベンダーの総量に対して2%とごくわずかなものですが、逆に大変希少価値が高く、かなり販売能力があると判断しています。

問 今回の計画は、「耕作放棄地にもラベンダーを栽培」「道路脇の植樹帯にも可能な範囲でラベ

ンダーを栽培」「そのことで観光客も誘致し、町の景観にも貢献したい」となっていますが、そのような壮大な計画を北播磨ラベンダーだけに押しつけるのですか。

答 ラベンダーパークだけのラベンダーを使うわけではありません。ラベンダーパークのラベンダーは、将来的には観光用となると思います。休耕田でラベンダーを栽培し、精油として展開していくことを目指します。

何年か先には自前で収益を上げていただくことは当然ですが、初期の段階では何らかの助成措置は必要だと考えています。

また植樹帯の部分は、ローズマリーの展開ができませんかと考えています。この事業がうまく展開できるように、行政としても支援をしていくつもりです。

第61回多可町議会定例会 賛否の公表

議案名	山口邦政	吉田政義	清水俊博	日原茂樹	大山由郎	辻誠一	笹倉政芳	草別義雄	橋尾哲夫	市位裕文	廣畑幸子	安田昇司	藤本英三	河崎一
議案第68号 多可町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号 多可町職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号 平成26年度兵庫県多可郡多可町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号 平成26年度兵庫県多可郡多可町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号 平成26年度兵庫県多可郡多可町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号 平成26年度兵庫県多可郡多可町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号 平成26年度兵庫県多可郡多可町学校給食事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号 平成26年度兵庫県多可郡多可町診療所事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号 平成26年度兵庫県多可郡多可町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号 平成26年度兵庫県多可郡多可町水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号 工事請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号 平成26年度兵庫県多可郡多可町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第2~7号 多可町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第8号 多可町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第5号 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の採択を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第6号 年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○印は賛成、×印は反対、欠印は欠席。 河崎一議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。



大山由郎議員

問 障がい者の生活水準の好転をめざせ
答 総合的に福祉の施策を進める

大山 平成26年1月、日本は障害者権利条約を批准しました。これは世界で141番目であり決して早くはありません。障がい者の実数について、欧米では人口の15%、20%とされ、日本政府の最新の発表では6%余りに留まっています。このことは障がい者施策の対象に含まれない「制度の谷間」に存在する人々が多いことをあらわしています。

町長 ①特に課題となっているのが災害時の障がい者、高齢者、要支援者に対する避難行動対策だと思えます。多可町では、平成22年9月に災害時要支援者の避難支援全体計画を作成し、障がい者だけでなく高齢者、要支援者に対する対策を推進しています。平成25年6月に災害対策基本法の一部が改正され、避難行動要支援者名簿の作成が義務づけられましたが、以前より要支援者名簿を作成して非常時に

備えています。②各種年金の受給状況、各世帯状況も異なりますが、可能な限り住みなれた身近な場所、必要な支援が受けられることを目指します。③9月議会の状況を見ますと手話通訳の必要

性は強く感じます。番組に手話通訳の画面を挿入することは、技術的には可能と思えますが、多くの課題があり他のケーブルテレビの実施状況も研究しながら、前向きな検討をします。



は〜とふるSHOP アスパル

こんなんでない
これどうなってるの



12月定例会での一般質問は、12月18日と19日の2日間にわたって12人の議員が行政全般について質問しました。

※内容は次ページからですが、紙面の都合上カットしている質問があります。

全文は 多可町議会

Click 検索



Table with 3 columns: 質問議員 (Questioner), 質問要旨 (Question Summary), 掲載ページ (Page Number). Rows include questions from Yamashita Yuzo, Shimizu Shunbo, Fujimoto Eizo, Hirohata Yuki, Ando Norio, Yamaguchi Naomasa, Suganuma Masahiro, Hashimoto Tetsuo, Yoshida Masayoshi, Hara Shigenori, Ichii Yuzumi, and Tsutsui Makoto.



藤本英三議員

問 グラウンドゴルフ場はまだか
答 来年度に完成予定

藤本 昨年の12月定例会で、私は一般質問で「余暇村公園にグラウンドゴルフ場を建設してはどうか」という質問をしました。町長の答弁は「財政的に厳しい中、余暇村公園が適地かどうか、判断して整備する方向で検討します」とのことでしたが、今のような計画段階で倒れ、水泡と消えてしまったのでしょうか。町長は昨年度から敬老のうた「きつと ありがとう」の作詞作曲を公募され、今年度にはその歌をCDにして多可町全戸に配布し、また全国約1750市町村にも郵送されました。全国に高齢者を敬う精神や敬老の日発祥の地をアピールすることは否定しませんが、町民の福祉向上が優先するのではないのでしょうか。グラウンドゴルフ場建設の進み具合と町長の意気込みをお聞かせください。



早くできないかなグラウンドゴルフ場 ー中央公園グラウンドー

町長 候補地を3カ所ほど思案していますが、新年早々案が示せると思っています。その予算は、27年度に計上して、お年寄りの活動の場・健康づくりの場にしてもらいたいと思います。

学童保育希望者を
全員受け入れよ

藤本 来年度から小学6年生まで学童保育が認められます。小学4年生ともなれば自立心や親子の信頼感を養わなければなりません。児童の性格や家庭環境の違いもありますので、子どもを下

校後1人しておくことを心配される保護者の方もいらっしゃると思います。特に仕事を持っている若いお母さん方は、安心して子育てできる町として、多可町で留まっていただけだと思います。学童保育の施設や指導員の確保は難しいですが、早急に学童保育待機者をなくすることが必要です。教育長の考えを尋ねます。
希望者全員を受け入れ可能に
教育長 来年度の希望者を聞きますと、現在は5名です。よって来年度は今のところは全員受け入れ可能だと思います。今後希望者が増えること施設や指導員の確保ができませんので、家庭の状況などから保育が必要な児童を優先したいと思えます。



清水俊博議員

問 「多可町創生」覚悟を持って
答 15年を多可町創生元年にする



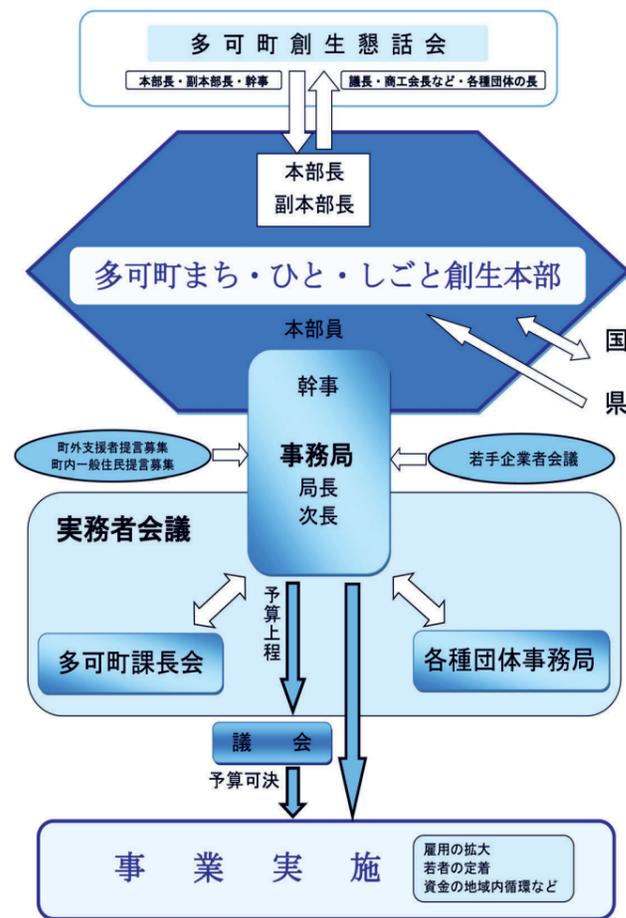
子どもたちに明るい未来を

清水 人口の急減、超高齢化という大命題を克服すべく、今、多可町に便益費用を基本にした独自の創生計画づくりが求められ、その基本目標に地方が成長する活力を取り戻し、人口減少を克服するとあります。地方創生会議の提言は人口が減り、それに伴い地方経済が疲弊、集落、自治体が消滅危機になる想定です。要は人口を減らさず増やすため、皆で危機感を共有する必要があります。明確に目標を示すべきだと思います。

町長 合併時の人口2万5197人。平成26年11月末統計では11.5%にあたる2907人の減少となっております。少子化と高齢化を伴いながら急速に人口減少が進んでいます。その現状を認識し「多可町まち・ひと・しごと創生本部」を全国町村で一番先に立ち上げました。具体的目標は、総合戦略策定の中で検討します。

清水 今、真剣に自治体消滅回避をしようと決意をするならば、若い世代が結婚出産育児の希望をかなえられるようにする政策を、強力に推進すべきとの提言があります。過去にはない異次元の大胆な政策を、確かな結果が出るまで実行していかないと、この危機状況の打破・解決はありません。更なる広域連携、中核都市構想を参考にし

その戦略を明示し共有すべきでは。
町長 総合戦略の策定に関して、シテイマネジャー制度（キャリア職員、またシンクタンクのメンバーなどを派遣する仕組み）を活用して27年度策定する「多可町まち・ひと・しごと創生戦略5カ年計画」に人口減少、少子化、消滅集落への措置対策を盛り込みます。





安田昇司議員

問 これから農地はどう守るのか
答 誰もが考えるからスタート



農業の主体は元気な高齢者

安田 多可町の農業と言いますか、農地はどうすれば守れるのでしょうか。小規模農家が、トラクターからコンバイン、乾燥機まで一式一揃えを全て持ったの農業は、もはや無理であり、農家の皆さん自体も無理と十分

に理解もされています。しかしながら、先祖からの農地を守るという使命感からだけで、今までは低米価でも高齢者主体で農業が何とか継続されてきました。もう限界が来ています。これからの農業は、集落

営農に取り組み集落全体で農地を守る以外に手は無いように考えます。しかしながら、誰がどうするのかとなります。人もお金も無く大変です。国県の補助金を受けるとなると当然に難しい条件がきます。そこで集落・農会などの団体からとにかく農地を守ると結びつけて申請すれば、原則何でも良いとする町単独の補助金事業を起こす、いわゆる「ミニ町単独農業構造改善事業」の創設はどうでしょうか。原則、農機具は新規購入せずに各農家が持つておられる農機具を集約し、これを利用しての農業とする。そして人材が無い場合は雇用確保にも補助金を充当して良いとする。何でもありの思い切った町単独事業の展開をする。こうでもしないと多可町の町土、農地は守れないと考えますが、町長の見解を求めます。

町長 一番悩ましい課題です。同様の感覚ですが、具体的にとなると非常に難しいというのが正直な思いです。集落自らの力で考えておこなう共同活動の営農組織の立ち上げを期待します。農地を集落営農などへ貸すことは、大きな意味で農地保全と財産を守ることとなります。まず集落内の農業の現状と今後について話し合いの場を設けることがスタートと考えます。多可町の宝であります素晴らしい田園、農地を守るため皆さんと意見交換をしながら進めたいと思います。



廣畑幸子議員

問 命のバトンを普及せよ
答 希望者への配布を進める

廣畑 救急医療情報キットは通称「命のボタン」と呼ばれています。ひとり暮らしや家族のいない時に、急病で倒れてしまった場合に、情報を提供できるアイテムです。多可町では、平成25年11月から制度がスタート。初めは65歳以上のひとり暮らしの人、そして26年度からは65歳以上の高齢者夫婦世帯へと拡大しています。始まってまだ1年ほどの制度ではありますが、設置件数が少なく、住民全般への周知もまだまだです。民生委員さんが配布されていますが、どのようなようにしていますか。民生委員さんの中には担当集落が複数あり、ご苦労されていると聞きますが、普及状況は。対象者を、昼間ひとり暮らし、また昼間高齢者夫婦世帯などにも広げていくべきではないでしょうか。

うか。65歳までのご家庭でも希望があれば配布すべきではありませんか。**町長** 民生委員さん、高齢者あんのしん票の回収や訪問の時に「命のボタン」の説明をして頂き、希望があれば配布もして頂いています。



冷蔵庫に保管されている命のボタン

民生委員さんには、まず周知のお願いをしています。希望があれば、生活安全課で対応することでも伝えて頂いています。対象者は平成26年11月20日現在で、1143世帯ですが、配布は12月20日現在66世帯6%弱という状況です。まずは、現在の対象者

の65歳以上のひとり暮らし高齢者と、高齢者夫婦世帯への配布を優先的に進めていきたいと思っています。**廣畑** 対象者以外の希望者への配布は。**町長** 配布する方向で検討します。**福祉タクシー券の利用地域を拡大せよ****廣畑** 3月に質問した福祉タクシー券の利用範囲ですが、清水坂トンネルが開通して1年経ちます。丹波市方面への拡大はできていますか。**情報を得て検討する****健康福祉課長** 現在の利用範囲は、町内・西脇市・加西市です。タクシー業界に現状を聞かせて頂いて、今後検討します。



笹倉政芳議員

問 地域活性化対策の取り組みは
答 積極的に地域創生を推進する

笹倉 地域経済団体である多可町商工会の会員数は、平成21年の商工会合併当初は1006ありましたが、現在では781まで減少し、135力所の雇用の場が失われたこととなります。人口減少に伴う地域内消費の低下や後継者難により経営の環境はますます厳しくなっています。地域の中で頑張り続ける中小企業、小規模企業に対して、国の「まち・ひと・しごと創生法」や「緊急経済対策」を活用し、地域内消費の喚起と後継者の育成に取り組むべきです。そして、多可町にマッチした企業誘致や町内の空き施設・店舗・工場を利用した起業支援などで雇用の確保に全力で取り組むべきだと思います。

また、安全・安心な野菜を年間通じて安定生産し、給食センターなどに出荷できるシステムを構築することで、多くの農家の収入を増やすこともできます。



野菜をもっと使える工夫を



山口邦政議員

問 杉原紙のユネスコ登録へ動け
答 まずは国の指定実現に取り組む

山口 平成26年11月に石州半紙、本美濃紙、細川紙がユネスコの無形文化遺産に登録されました。多可町が誇りとする杉原紙も今回登録された3紙と比べ、古さ、過去の全国的な広がりや遜色ないと思います。ただ、杉原紙は県の重要無形文化財の指定ですが、国の指定を受けるまでには至っていません。まずは国の指定重要文化財の保持団体に指定が必要だと思いますが、杉原紙のユネスコ登録へどう取り組むのですか。



楮さらしをする地元の小学6年生 一杉原川上流一

町長 今回のユネスコ登録は杉原紙も注目を集めるチャンスと思っております。しかしながら全国には同じような産地が多くあり、登録に向けては非常に厳しい過程があると認識しています。杉原紙の歴史は古いですが、大正末期から50年間ほど途切れてい

ます。この部分を論文的にどう埋めるのが課題です。既に那珂ふれあい館で検証のための資料収集を始めています。来年度以降に専門の研究者も交えた調査委員会を組織し、3年から5年後には報告書を作成して国への申請資料にできるように取り組みます。その他に杉原紙は1戸2株運動で地元産楮利用

が90%まで達成できているのを100%まで持つていくことや、和紙に関わってもらえる人を地域おこし協力隊で公募するなどしたいと思っています。また、平成28年6月に全国手すき和紙青年大会を多可町で開催する予定です。ここで、ユネスコ登録や東京五輪の表彰状に手すき和紙を使ってもらうという宣言ができればと思っています。

新地方公会計制度移行準備は
山口 ①総務省改訂式の財務4表は作っていますか。
②固定資産台帳整備の準備状況は。
③新地方公会計への移行はいつから実施しますか。
④移行後財務4表を財政運営にどう生かすのですか。

28年度決算から実施する
総務課長 ①23年度から実施予定でしたが、遅れており作成できていません。
②27年度中に資産台帳の整備をします。
③28年度決算分の財務書類から実施します。
④説明責任の履行、目標設定、行政評価などに利用します。

町長 空き家・施設などを活用した起業支援のための情報を収集し、利用希望者に情報提供をする情報バンク制度の構築と推進に、商工会や宅建協会とも連携し取り組みが必要があると考えています。また、起業という分野へのさまざまなサポートと環境づくりを北はりま定住自立圏という枠組みで推進します。

産業振興課長 今後は農家の方々の組織体制がないので、関係各課と調整し供給システム構築ができるように前向きに検討します。



吉田 政 義 議員

問 鹿の有効活用を促進せよ
答 流通システムの構築をする

吉田 25年度、多可町では893頭の鹿を捕獲しています。そして、委託料は、狩猟者が加工施設へ搬入費1万2000円、集落などの埋設処分1万円、(株)猪名川動物園での焼却処分費および運搬費3万9000円となつていきます。集落の処分では、場所探し、重機あるいは手掘りなどの掘削に苦勞をされています。鹿を埋設せずに有効活用するべきです。町内には鹿肉を活用してペットフードを作ろうとしているNPO法人カンビオがあります。箱わなや、のり網で捕獲した鹿を、町内業者に受け入れていただくシステムを作り、鹿の有効活用を促進することが大事ではないでしょうか。集落も、埋設するより町内業者に搬入する方が助かると思います。交通事故などの鹿は、活用可能かの判断が必要ですので、猟友会とカン

ビオの連携が進めば、鹿の有効活用もでき、委託費用も軽減できます。町長の見解をお聞きます。
町長 23年度から、被害対策の一環として、箱わなによる有害鳥獣の駆除(鹿一体埋設1万円)を区長会と委託契約を結んで実施しています。捕獲許可を有する猟友会と集落で役割分担をしてもらい、捕獲をしています。鹿肉のペットフードは食肉と異なり、製品として厳しい基準もなく、鹿をストックする大型冷蔵庫を数基整備されることから、かなりの鹿の受け入れが可能です。地域資源としての鹿の有効活用集落の埋設負担の軽減ができることで、捕獲意欲につながると思います。多くの集落が、この事業に取り組みれるとも思います。



増え続ける鹿の有効活用を



橋尾 哲 夫 議員

問 災害警戒区域の周知徹底を
答 災害マップを配布し周知する



町内には危険箇所がいっぱい

橋尾 兵庫県には、2万168カ所の災害警戒区域があります。全国で4番目の危険な県です。多可町は393カ所で大和地区は71カ所あります。

防災マップ配付のみで自宅周辺の危険地区を把握されていない住民は少ないです。再度周知徹底をするべきです。多可郡仏教会とは災害

時に施設の利用に関する協定が締結されています。協定後は一度も協議会などは開催されていません。常に協力を維持するために、年1回は仏教会と会議などを開催するべきです。

町長 多可町は393カ所の災害警戒区域があります。八千代区は202カ所で約半数を占めています。本年災害マップを全戸に配布しました。自主防災組織も活発で、災害時には町は全力で当たります。防災訓練に参加されなかった人に対しては今後の課題です。

多可郡仏教会や各寺院とは、定期的に会合を開き協力体制を継続していきます。

多可町を有るにせよ

橋尾 多可町は「敬老の日発祥のまち」です。日本全体が超高齢社会を

敬老の日発祥のまち宣言をしたい

町長 「敬老の日発祥のまち宣言」をして、「敬老の日発祥のまち」であることを広く発信したいと思っています。CD「きつと」ありがとうございます。英語版については、文化会館運営協議会でも英語版の提案がありました。検討します。



市位 裕文 議員

問 婚活イベントの成果と今後 答 9組のカップルが誕生

市位 婚活パーティーが平成26年11月22日に開催され、大変盛況だったと聞いています。その婚活パーティーの様子の報告と、仮にその時のカップルが成婚した時の、多可町の若者の結婚への支援体制をお聞かせ下さい。結婚して町内から出ていくのでは大変困ります。

町長 婚活ネットワークの初の取り組みであり、事前には婚活セミナーも開催されました。

男性13人、女性15人の参加で始まり、パターゴルフや宝探しゲーム、フリートークなどがあり、大変盛り上がり9組のカップルが誕生しました。また26年度内に、もう一度婚活パーティーを予定しています。

若者への支援体制は、庁舎内に就業支援のオンラインを開設したり、定住に向けては、生活支援融資制度、住宅助成制度、



大盛況だった婚活イベント 一余暇村公園一

家賃負担軽減措置などがあり、サポート体制を整えています。

また若者の町営住宅への入居に関しても軽減措置などを設けています。

学校給食の 配送に問題

市位 松井小学校や杉原谷小学校、加美中学校、中町南小学校などで危険箇所が見つけれられます。特に松井小学校のプラットホームと車の間に段差があり、大変な問題と思われませんが、今後の改善対策はどのようにしますか。

2期工事で改善

教育長 杉原谷小学校はプラットホームにより車を近付けて止めるようにし、中町南小学校には転落防止柵を設置しました。

松井小学校の新しい給食室は、確かに問題はありませんが、2期工事の中で、外溝も含め地面の舗装時に段差解消の措置を取ります。

今後も提携業者との連絡をより綿密にとり、安全な配送業務に取り組みます。



日原 茂樹 議員

問 発達障がい者への就労支援は 答 さまざまな制度を利用します

日原 発達障がい者に対する支援というと子どもを中心に考えられてきましたが、大人にも発達障害は存在します。ひきこもりやニートの増加の背景には発達障害の増加も関係あるとの専門家の指摘があり、大人の発達障害に対して適切な支援が求められています。多可町では早期診断、療育、教育、相談体制など発達障害に対する支援をしています。十分に対応ができていないとは思いません。

大人にも発達障害はあり、支援が必要です。重要なものの一つに就労支援が上げられます。

現在、発達障がい者への就労支援はどのようにしていますか。また支援を強化するには多可町の関係部署の連携を強化する必要があります。

町長 成人の場合は、対象者に接触を試みる中で、相談支援専

門員を通じて情報を得て、支援計画を検討し、地域活動支援センターなどの通所を通して社会参加する方法があります。就労支援施設などの利用で就労に繋げる方法もあります。

町の障害者相談支援センターで就労相談を受けたり、ハローワークや兵庫県障害者就業・生活支援センターなどと連携をとっています。

健康福祉課長 教育委員会とは、卒業後の情報共有も含めて協力体制の仕組みを検討しています。労働を担当する地域振興課、消費生活は生活安全課と情報を共有し、まだ十分とはいえませんが、連携をします。

小・中学校でのICT教育の取り組み

日原 コンピューター環境の整備やプロジェクトの配備などICT環

境が整備され、わかる授業の実施、情報化による校務の効率化などが進んでいます。ICTの技術面での進歩に伴い、学びの形が変化し、多様化が進む中、小・中学校に導入されているICT機器をどのように活用していますか。



電子黒板を使ったわかりやすい授業 一松井小学校一

ICT機器で わかりやすい授業

教育長 コンピューターは、1人に1台導入済みです。書画カメラやプロジェクターなどは、クラスに1台順次導入していきます。

書画カメラとビデオプロジェクターとの組合せや、タブレットを使ったわかりやすい授業をしていきます。

総務文教常任委員会

快適な学校生活を目指して

(平成26年12月10日)



八千代南小学校体育館のつり天井

12月議会に提案された補正予算関連の状況調査のために、管内施設の現地視察を実施しました。八千代南小学校では平成28年4月の統合を控えて、通学バスの乗降場の整備、エレベーターの設置、教室の改造などの計画場所を確認しました。統合される八千代小学校の児童たちが快適な学校生活を送れるように、担当部局が考えている箇所以外にも気が付いた箇所の改修も指摘しました。なごみの里では、ボイラーの修理箇所について

の検証をしました。設置11年目を迎えたボイラーは、平成23年頃より修理の必要な状況が頻繁に発生してきており、抜本的な対策が必要なのかもしれません。次に中町中学校へ移動し、体育館と格技場の天井など耐震化の箇所を視察。東日本大震災以降、大規模な地震では、天井材の落下など非構造部材の被害が発生しています。落下防止の耐震対策を文科省より求められているため、今回の改造となりました。同時に中町北小学校、八千代南小学校の体育館でも天井などの工事を予定しています。最後の那珂ふれあい館では、東山1号墳の石室修復工事予定地を視察。石室の入口付近の石積みが徐々にずれてきて危険なため、入室が規制されています。石積みの改修により従来どおり見学ができるようになります。

〈議会の活動報告〉

Table with 3 columns: Date, Committee Name, and Date. Lists various council activities from October to December.

問 手話言語条例を制定せよ
答 検討会を立ち上げ準備を進める



辻 誠 一 議員

辻 今、全国の77%を超える1345自治体では手話言語法の制定を求める機運が高まっています。平成23年に改正された障害者基本法では、「全て障害者は、可能な限り言語(手話を含む)、その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と、手話が条文の一節に盛り込まれています。誰もが安心して暮らし続けることのできるまちにとの多くの住民の願いに応えるためにも、多可町でも手話言語条例を制定するべきでは。



人権のつどいで会長あいさつを手話通訳

めには、難聴者も、健常者も、若いも若きも、誰もが気軽に手話に触れ、手話を学ぶ機会の確保が必須条件です。現在、多可町では小学校4年生を対象にした2時間だけの手話体験の時間があり、2年ごとに社

会福祉協議会が主催する初級手話講座が開講されていますが、これでは不十分です。手話講座の入門基礎の講座に、要点筆記の講師にも加わっていただきますと、難聴者も同時に手話を学ぶことが可能とな

町主催の入門基礎講座を常設してはどうですか。 辻 加東市、西脇市、多可町の2市1町で共同開設しています。講座の内容は、入門基礎課程を終えられた方を対象としたステップアップ講座や手話通訳登録者を対象とした研修となっています。住民の皆さんに手話の初歩的などころから始めていただけるように、イベント時や各種団体などの総会時に、手話と触れ合っていたり機会をもっとつくっていきたくと思っています。 教育長 子どもたちが手話を学び、耳が不自由な方と心を通わせることは本当に大切なことです。各学校で手話の学習を継続的に実施できないか検討します。



34種類に分別してリサイクル ー上勝町ー

創造的過疎を 来たるべき

目指す“まち”を訪ねて 人口減少社会に備える

総務文教常任委員会は平成26年10月30日・31日に徳島県的美波町・三好市へ、生活環境常任委員会は平成26年11月17日・18日に徳島県の神山町・上勝町へ行きました。

田園回帰を実感

美波町

サテライトオフィス（本拠から離れた場所での事業所）の取り組みを、平成23年から始めました。現在は6社が進出し、内5社は古民家を利用してあります。また、進出に伴い10人が移住（古民家利用）しています。

③行政のサポートが必要と説明されました。町は誘致による効果を①地元住民や企業と連動した事業が生まれ地域が活性化してきた

三好市

人口約3万人の市に小中学校が57校ありました。平成24年には28校が休廃校となりました。休廃校の活用が政治的課題と考え、市のHPで活用アイデアを募集しました（現在までに43件の応募）。また、翌年からは活用事業の募集も始めました。東京・大阪での誘致説明会の開催や廃校だけでなく空き家・空きオフィスの現地視察ツアーを実施し、成果をあげています。18件の応募のうち、12件を事業選択。46

少くともキラリと光る

神山町

「創造的過疎」を掲げ、町の活性化に力を入れ、古民家を使ったサテライトオフィスでも注目されています。



銭湯を改修したサテライトオフィス ー美波町ー

①サテライトオフィス
②ワークインレジデンス（仕事を持った移住者の誘致）
③神山塾（職業訓練による後継人材の積極的な育成）

転入希望者の「面接と選別」は町に必要な店舗や人材を優先し、平成20年以降で65世帯116人が移住しています。これからは、林業や農業の担い手を募集する予定です。若者の転入が続く神山町ですが、人口の減少は相変わらずです。これを悲観せず、「人口構成の健全化」を目指しています。

上勝町

上勝活性化振興計画「小さくてもキラリと光る持続可能な地域社会づくり」各事業を視察しました。

④廃校を利用した定住促進の取り組み
上勝町は、高齢化率が51%と少子・高齢化が進んでいる町です。この町の未来をどうするのか、大いなる議論の後たどり着いたのが「持続可能な地域社会づくり」です。上勝町のキーワードは「産業福祉」。与えられる福祉ではなく、自ら生産社会にかかわり健康寿命を全うすることです。そのために、
①循環型社会をリードする町
②若者が住みたくなるような魅力ある町
③地域経済の活性化ができる町
を3つの柱としています。危機感を共有し住民、行政ともに「覚悟」を持った取り組みに、多可町も大いに参考にすべきと認識しました。

人の雇用の創出ができて、移住者は10人程となっています。担当職員は「行政は利活用の仕組みをつくり提供するのみ」進出希望の事業者があれば「まずはやってもらおうという姿勢です」と話されました。立地条件が不利な自治体でもプロモーション次第で誘致が可能なのを実感しました。また、東京圏から若い人たちが移住し、事業活動をしているのを見て、田園回帰、ライフスタイルの変化を感じる視察となりました。



第7回議会報告会

町の活性化に 公共施設の有効活用を

平成26年11月10日に商工会未来創造実践部との意見交換を含む第7回議会報告会を開催しました。未来創造実践部は多可町の発展・活性化を目指し、自主的かつ実践的な活動をされています。特に空き店舗、空き倉庫を活用した地域経済の活性化に取り組みられています。

このこと「仕掛け」をする人が必要です。行政は利活用の仕組みを作っているだけなので、とにかくやってみようことが大事です。国も地方創生に力を入れていますし、町もプロジェクトチームを作りました。受け皿はできています。

議員 思い切った経費削減と、収入を増やすことが必要です。
未来 公共の空き施設の有効活用も、行政は慎重過ぎて話が進みません。簡単な手続きで施設が使えるようにできませんか。施設はもちろん

議会も公共施設の利活用や統廃合に力を入れており、予定時間をオーバーしての熱い議論が交わされました。未来創造実践部の皆さんも、我々議員も多可町の発展に対する思いは同じでした。